

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果(南中学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	数学	英語
南中	67.3	54.8	53.7
埼玉県(公立)	73	59	56
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	南中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.9	93.6	93.13
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	77.1	80.0	78.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.5	92.7	92.8
	学校の規則を守っている	97.7	97.4	96.2
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	50.8	55.3	50.4
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている	74.3	80.9	74.9
	1・2年生のときに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	80.0	81.3	74.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	71.3	74.8	69.8
教科への関心	国語の勉強は好きだ	51.4	61.4	61.7
	国語の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	64.6	76.3	71.6
	数学の勉強は好きだ	45.7	58.3	57.9
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	73.7	76.4	76.2
その他	自分には、よいところがあると思う	73.8	76.4	74.1
	将来の夢や目標をもっている	79.4	73.3	70.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	94.3	94.2	94.3
	今住んでいる地域の行事に参加している	51.4	48.5	50.6

南中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 基礎的な言語事項についての正答率が高かった。
- 会話の中での役割を答える問題の正答率が高かった。
- 文脈から推測する問題の正答率が低かった。
- 書く問題の無回答率が高く、正答率も低かった。

【数学】

- 3角形の合同条件を理解している。
- 短答、選択の設問については比較的解答できていた。
- 事柄が成り立つための理由を説明することを苦手としている。
- 長文の設問、説明を求める設問、記述式の設問を苦手としている。

【英語】

- 「聞くこと」・「読むこと」の長文問題の無回答率が0だった。
- 「話すこと」では無回答はほとんどなく積極的に発言していた。
- 書くことの正答率が低く、また無回答率が高い。特に自由記述の問題の正答率が低い。

【質問紙】

- 毎日、同じくらいの時間に起き、朝食をとる生活習慣が身についている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している生徒が約半数である。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・問題文の前後を読んだのちに、傍線部自体の内容を考えることができるよう、学習内容の工夫を行い、解法をテスト等で身につけさせる。
- ・意見文や説明的な文章を読み取り、自分の意見や考えを書く活動を行うなど、読むことと書くことを繋げるような学習活動を行う。
- ・書くことにおいて無回答率が高いため、文章の形式を示して指導するなど、苦手意識を持った生徒に配慮した学習活動を展開する。

【数学】

- ・基礎的学力の充実を図る。
- ・関数分野、資料の活用分野を苦手としているので、その部分のふりかえり(復習)も含めた丁寧な指導・長文の問題にたいして題意をつかむ理解力、文脈を捉えられるようにする。
- ・授業の中での、考える場面、説明する場面、考えを記述する場面などを教材等によりタイムリ―に設定する。
- ・長文の問題にたいして題意をつかむ理解力、文脈を捉えられるようにする。

【英語】

- ・決められた日本語文を英語訳するのではなく、自分の考えや意見を英語にする練習が必要である。また、日本語を直接同じ意味の英語に当てはめるだけでなく、様々な言い回しを使い表現する練習を行う。